JA十和田おいらせ 広報誌

地域と農業を結ぶ、ふれあいと絆の発信源

Agresh あぐれっしゅ 9

2016. VOLUME.78

特集 新総代531人決まる ～女性総代44人に～

「みんなのよい食プロジェクト」とは、これからの日本人にとって「よい食」とは何かを、日本の農業とJAグループ、消費者のみなさんで一緒になって考え、行動していく運動です。

腕じまん 地域じまんのモノ語り

准組・利用者向け広報紙「アモぼーる」創刊

～テーマは「次代へつなぐ」～

当ＪＡは、准組合員・ＪＡ利用者向けの広報紙「アモぼーる」を創刊した。編集者7人全員が女性で、新人の広報担当職員を中心に各部署・子会社社員が制作。「次代へつなぐ」を意識し、若者から主婦層をターゲットに、利用者目線で管内の食の魅力、ＪＡ事業を伝えていく。2016年度は年3～4回の発行を予定する。

タイトル「アモぼーる」は、イタリア語と仏語を組み合わせた造語で、ＪＡが目指す「地域愛」をもって、地域の人たちと「つながり」を深めていきたい願いを込めた。

▲准組合員向け広報紙を制作した女性編集委員のみなさん（十和田市、8/22）

創刊号の野菜シリーズでは、日本トップクラスの生産量で、管内の主力作物・ニンニクの栄養価などを紹介。地域の人たちが手作りする、おいしい食巡りのほか、事業紹介では担当者の旅での感動エピソード、ＪＡ共済契約者様の心温まる体験記などを盛り込んだ。

Ａ4版、4ページ、オールカラーで7千部作成。イベント開催などを紹介したチラシを含め、准組合員5,100戸には郵送配布したほか、本支店では顧客巡回活動などに活用していく。

ナスとエビのチリソース

材料（3人分）

ナス	2本	調味水	
エビ	10尾	ケチャップ	大さじ1
ピーマン	2個	中華スープのもと	小さじ1
トマト	1個	みりん	大さじ2
ニンニク	1片	塩	小さじ1/4
ショウガ	少々	こしょう	少々
細ネギ	1本	かたくり粉	小さじ2
ごま油	大さじ2	水	1/3カップ
豆板じゃん	小さじ1		

作り方

①エビは背側を切り開き、背わたを取る。分量外の酒・塩・かたくり粉をもみ込む。
②ナス・ピーマン・トマトは大きめのざく切り。ネギの青い部分は小口切り。
　ネギの白い部分・ショウガ・ニンニクはみじん切り。
③調味水を混ぜ合わせる。
④温めたフライパンにごま油小さじ2程度を敷き、エビを炒めて取り出す。
⑤フライパンに残りのごま油を入れ、ニンニク・ショウガ・ネギのみじん切り・豆板じゃんを炒め、香りが出たらナスを炒める。ナスがしんなりしたらピーマン・トマト・調味水を加え、全体を大きく混ぜ合わせながら炒める。
⑥とろみが出たら火を止め、器に盛り付けて青ネギを添えて完成。

1食当たり約197kcal

■平成28年9月13日発行　■発行／十和田おいらせ農業協同組合　〒034-0081　青森県十和田市西十三番町4-28 TEL.0176-23-0311 FAX.0176-24-1829
■編集／JA十和田おいらせ 広報編集委員会　■公式ホームページ　http://www.jatowada-o.or.jp　■Email/kanri@jatowada-o.or.jp　■印刷／アート印刷

表紙写真紹介

● シリーズ 日本の農業に生きる後継者　Vol.56

継承×人（けいしょうびと）

七戸支店管内

中野渡（なかのわたり） 真澄（ますみ）美さん(34)

父を超えることが目標

酷暑の中、ビニールハウス内でのトマトの受粉作業に忙しい真澄美さん。ハウス80坪、6棟に作付するトマトを母親と二人で管理。最盛期には早朝4時起きで収穫を始め、七戸野菜センターの選別場へと搬入する。その後も作業は続き、芽欠き、受粉と夕方まで管理作業にフル稼働。父親が作付していた面積に追いつきたいと、栽培の腕磨きに日々、奮闘中だ。

8月19日撮影

不安な中でのスタート

2人きょうだいの長男として生まれた。高校卒業後は、埼玉県でサラリーマン生活を送り3年ほど前、父親が病に倒れたことが大きな転機となった。

父親は、トマトを経営の軸とする専業農家で、80坪のハウス11棟の作業をすべて一人でこなしていた。「今の自分でこなせるか。不安な中でのスタートだった」と、就農当時を振り返る。

外気温30度超え、ハウス内の室温も35度を上回る厳しい暑さのなかでの作業は、体力的にもきつい。加えて、生長に合わせた潅水のタイミングなどの管理も難しい。「暑さで花落ちし、実らなかった段もある」と話し、自分の未熟さを痛感する。

収量アップと規模拡大が目標

七戸地区は、トマトの主力産地であり、栽培の達人も多くいる。先輩農家の教えに耳を傾けるほか、ＪＡが開催する講習会にも積極的に参加する。自身の前年産実績は、10ｱｰﾙ収量7ﾄﾝ。10ｱｰﾙ収量8ﾄﾝ以上と作付面積の拡大を目標とする。

真澄美さんは「同じ気象条件でも、確実に収穫、収入に結びつけている生産者も多くいる。日々学び、栽培技術を高めていきたい」と力を込める。

プロフィール＝なかのわたり　ますみ
七戸町横長根地区　組合員＝富雄さん
家族構成／両親、本人
農業経営／トマト480坪、水稲、ゴボウ

地元に馴染もうと、秋祭りなどにも積極的に参加し、地域の人たちとの関わりを少しずつ増やしている。

災害対策本部設置 ～台風被害甚大～

8月に入ってからの長雨と、相次ぐ台風の上陸で、ＪＡ管内の農作物はナガイモ、長ネギ、ゴボウ等で甚大な被害を受けました。災害にあわれた生産者の方々には、心よりお見舞い申し上げます。

当JAでは、8月31日に「農作物自然災害対策本部」を立ち上げ、被害の全容把握と要望の取りまとめに全力で取り組んでおります。少しでも多く収穫できるよう栽培管理情報を発信するとともに、所得確保に向けて被害作物の販売方法や再生産のための対策を協議してまいります。

生産者の皆様には、被害情報等の提供とともに肥培管理を徹底していただきますようお願いいたします。

写真右から、竹ヶ原組合長
成田専務、中川原常務

総務部　JA収穫祭告知

◆開催場所：ＪＡ十和田おいらせ本店
十和田市西十三番町4-28（官庁街通り）
TEL:0176-23-0311

◆1日目　平成28年10月15日（土）
午前10時～午後4時

◆2日目　平成28年10月16日（日）
午前10時～午後3時

主な催し

○ステージイベント　○各支店PRコーナー
○米、やさい、畜産物の消費拡大コーナー
○農産物、加工品即売コーナー　○農畜産物共励会
他

詳細は後日チラシでお伝えします。

もくじ contents あぐれっしゅ vol.78 9

特集 5.6.7p
新総代531人決まる！
～女性総代44人に～

災害対策本部設置～台風被害甚大～
総務部　JA収穫祭告知 …… 2p

継承人 表紙写真紹介 …… 3p
中野渡　真澄美さん（七戸支店管内）

あぐれっしゅ情報① …… 4p
・重点市場販売要請報告書

NEWS&TOPIC 地域の話題 …… 8p
・相次ぐ台風　管内に爪痕
・加工ジャガイモ出荷本番
・「一球入魂カかぼちゃ」いよいよ出荷　ーほか

頭の体操 パズル? ……12p

笑顔 きらめいて ……13p

information ……14p
・金融部　JA住宅ローンとくとくプラン
・金融部　年金はJAにおまかせ！
・米穀畜産部　平成28年産米の受入施設と受入品種
・ももいし＆下田合同おいらせ町秋の農業祭り開催
・子牛市場　・理事会だより　ーほか

腕じまん
地域じまんのモノ語り ……16p
・准組・利用者向け広報紙「アモぽーる」創刊
・ナスとエビのチリソース

JAの概況 平成28年8月末日現在

正組合員数／6,892名
准組合員数／5,139名
役員数／26名
職員数(准職・嘱託含)／293名
貯金高／734億5,701万円
貸出高／176億　537万円

指導やさい部　重点市場販売要請報告書

市場側
安定した品質、供給求む

○報 告 者：ももいし支店営農販売課 課長補佐　大槻　幸男
　　下田支店営農販売課 販売担当者　沼舘　基通
○訪 問 地：石川中央青果㈱、㈱長印、東京神田青果市場㈱
　　東京青果㈱、全農青森東京事務所
○訪 問 日：平成２８年８月１７日(水)～１８日(木)

ナガイモ

競合産地の北海道産が2L・L中心であるため、太物の出荷量が少ない。暑い日が続いているため、冷たいそば・うどん等のトッピング（とろろ）に需要があり、引き合いが強い。

価格面では北海道産と青森県産の価格差が（＋300円）位あることに加え、商系や県内市場の仲卸による安価な転送品が多く見られ、市場関係者が頭を悩ませていた。

ダイコン

北海道産が６月の不順天候により播種が出来ない地域があったことと、一部地域に高温による抽苔が発生しているなど、北海道内からの出荷が少なく、高値販売となっている。各産地で雨天が多いため、腐敗等が散見される。徹底した品質管理を要望された。

ゴボウ

群馬県産に加え、関東近在の出荷となっているが、両産地ともに後継者不足により作付面積の減と、生育期の干ばつの影響により出荷量が少ない。消費地は気温が高く、荷動きはあまり良くない状況だった。今後は、北海道産、青森県産の出荷が始まるが、徐々に気温も低くなり需要期に入るため、荷動きは良くなると思われる。

北海道（ＪＡ川西産）

長野産（ＪＡグリー長野産）

ニンニク

7月末から冷蔵保管への入庫が始まり、市場の出回りが少なく、安定した販売で推移している。

今後8月～11月まで他の作業との兼ね合いから産地からの出荷量が少なくなる事が予想されるが、安定出荷を要望された。

キャベツ

昨年高価格で推移したため、各産地とも作付面積が増え、加えて良品質・豊作傾向であり、荷動きが非常に悪い状況にある。また、ＪＡ妻恋（群馬県産）の出荷量は、加工用と商系をあわせ、日量22万ケースほどの出荷になっている。

さらに、今までのＪＡ妻恋管内の作付け体系は、山の麓から山の中間まで2作の作付け体系をとっていたが、本年は中間よりやや上まで2作の作付け体系を計画し、昨年より出荷期間が長くなると話していた。

まとめ

７月末までは、全般的に順調な販売価格だったが、オリンピックが始まると同時に各野菜の販売価格が下げ相場となった。特に、ニンジンは青森県産の終盤まで高値販売で推移した。

今後について、ナガイモ・ニンニクは計画出荷に努めることと、選果選別の徹底を図る事により、安定販売が見込める。ダイコン・ゴボウ・ニンジン・キャベツは今後、各産地の出荷が始まると販売に苦戦すると思われるため、早め早めの出荷で有利販売に努める事が重要である。

特集

新総代531人決まる！

― 女性総代44人に ―

先般の総代選挙において、当選人531人が決定しました。うち、女性総代当選人は15人増の44人です。定款附属書総代選挙規程第22条により、就任日は平成28年8月28日（日）、任期は3年間で平成31年8月27日までとなります。

今回の特集では、総代の紹介と合わせ総代会制度について紹介します。

総代は、地域リーダー

より良いＪＡ運営を目指すためには、組合員自らが運営に積極的に参画し、要望、意見を積み上げていくことが重要です。総代会とは、総会に代わって組合の意思決定をする組合の議決機関であって、定款の定めることにより設置することができる任意機関です。

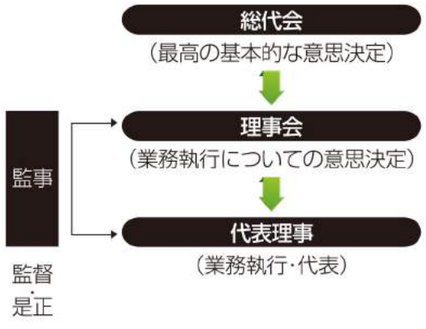
本来、総会において組合員の数が非常に多い組合にあっては、総会を招集することがなかなか困難なことであり、運営上の便宜を図るために設置されるのが総代会です。各地域から組合員のリーダーとして「総代」を選出し、みんなの考えをＪＡ運動へ反映させていこうとするものです。

1 総代会の設置と構成

総会は正組合員の全員で構成されるのに対し、総代会は総代をもって構成されますが、正組合員2500人を超える組合は500人以上の総代の定数がいなければなりません。総代の選出方法は選挙制によるものとし、定款の定めるところにより、正組合員の選挙により選出されます。当ＪＡの総代の定数は531人で、地区ごとの組合員戸数割りの配分となっています。

2 総代会の権限及び運営

総代会には、毎事業年度に一回必ず開かれる通常総代会と、それ以外の時に開かれる臨時総代会があります。総代会は総会に代わるべき機関であり、総会に関する規定が準用され、総代会の権限及び運営も総会の権限及び運営と同様です。したがって、招集権者と招集手続、総代会の成立と議決方法などは、それぞれ総会に準ずるものとされています。



特集 新総代531人決まる!

※( )=うち、女性総代数

三本木事業所 83名 (5)

北上勲 北上稔 佐藤勝雄 渡辺信雄 米内山智弘 紺野辰男 野田千津子 長根栄一 竹ケ原一志 畑中修 野村法彦 櫻田正徳 櫻田紀幸 山崎誠一 赤坂敏枝 畑中隆 櫻田努 成田博志 櫻田正直 音道尚子 畑山勝男 長畑富也 紺野貞次 中平一夫 山崎國男 桜田勇 桜田和彦 土嶺俊夫

蛯名尚道 河内憲子 上平冨也 大坂吉光 佐々木政美 本間登 小笠原通則栄 小林正治 藤森秀司 山端敏行 清水俊一 山端米機 山端芳孝 山端透 山端一博 山端誠一郎 坂本正宏 母良田俊徳 田高忠美 甲田稔 大下内猛 甲田繁美 豊川真一 豊川恒雄 豊川毅 佐藤幸弘 角田卓巳 気田智彦

気田真 橋場光喜 畑山靖雄 繁在家博 二ツ森隆雄 畑山廣志 関口昌司 大川武志 山田一博 豊川吉一 畑山博文 加賀沢金次郎 小笠原博幸 笹森金太郎 山田利昭 赤石勝雄 沼岡晴男 沼岡直光 杉山國光 東幸博 下佐喬 下佐春美 沼田知子 中川原彰造 中野渡正光 畠山新市 田中稔

大深内 57名 (6)

中野栄一 中野雄一郎 小笠原清春 小笠原信夫 佐藤福一 佐々木敏弘 杉村のり子 野月藤男 野月昭司 芋田幸吉 小田正喜 仁和勝千代 佐藤太一 浦田和広 佐々木茂雄 立崎健一 立崎まゆみ 立崎享一 斗沢善一 伊藤新一 甲田一博 中野渡道子 中野修 佐藤春美 大平靖四郎 佐藤松男 中野渡正仁 中野渡均

中野渡充 中野渡正宣 中野渡博喜 中野渡良一 中野渡敏彦 中野渡昭治 澤目範孝 沢目政光 下久保トキ子 沢目喜代人 澤目勉 中沢正吉 中沢千代吉 小原一夫 沢目久命 中野渡修 中野渡勝則 佐々木貞夫 佐々木薫 沢目セツ子 坂本一博 山田清徳 沢目孝枝 佐々木純一 佐々木新一 佐々木一幸 佐々木豊雄 米田正彦 中野渡真古登

藤坂 78名 (1)

米田茂 平舘龍太郎 竹ケ原竹夫 舛舘知 小山富雄 中村正好 竹ケ原一志 竹ケ原美祝 杉村徳蔵 栗山幸男 西山文夫 沢田敏美 高屋勇悦 白山修二 今泉英雄 小山田秀雄 竹浦寿廣 佐々木誠一 前山敏昭 舛澤正美 竹ケ原金雄 平舘元秀 箕輪展忠 藤森勉 小山石喜憲 沼宮内正美

和島孝雄 石森達雄 須田山聰 小山田訓 小笠原勝彦 松田勝 野崎武博 三浦孝一 國分弘志 布施茂 漆舘日出夫 杉沢茂 山田豊 佐藤佳伸 高橋秀幸 市崎貴之 竹ケ原昭夫 工藤和男 木村節子 佐々木秀紀 和田幸雄 佐藤一男 川口勝則 竹ケ原光利 竹ケ原良栄 小山田義則

国分豊人 松田隆 高屋政道 宮崎弘 力石堅太郎 高橋豊明 舛舘和博 漆舘貴史 高谷勲 戸来直城 成田利男 竹島聡 附田常雄 小笠原一三 小笠原勉 小山田悦夫 平舘三雄 竹ケ原善昭 苫米地真 米沼泰男 中村義信 古舘利明 石橋義雄 川上新一 小笠原親志 佐々木寛一郎

ももいし支店 59名 (6)

福田哲善 近野洋 川口秀美子 藤ケ森利昭 工藤文男 小向栄子 鈴木則夫 川口六介 遠藤廣志 竹ケ原正克 小向豊 田中正衛 橋本進 遠藤寿六 川口徹 石川拓 吉田正 松村一義 澤口則彦 種市亮輔 小向貞義 小比類巻啓裕 堀川三奈子 沼端豊 小向徳一 吉村秀一 中川原卓雄 沼端正志 工藤末三

佐々木光雄 二川目昇 小向厚子 佐々木明博 平野敏彦 濤岡徳好 川口馨 田中啓文 川口勉 吉田良紀 川口晃 村崎實 昆常男 久慈和文 田中仙吉 佐々木美智子 村崎一雄 深沢新吾 小向正和 吉田カル 松林誠 相坂英輝 川口喜代治 名古屋誠一 川口澄雄 北向淳博 沼端務 北向清吉 熊野勝則 深澤芳雄

下田支店 44名 (4)

田中直喜 袴田健一郎 村田浩和 種市修一 蛯名良夫 八重垣竹志 馬場武雄 中村栄佐雄 坂井田皓嗣 山崎俊美 山白覚 川崎良弘 川崎俊光 種市寿夫 佐々木勇雄 成田健義 工藤志郎 市村保行 柏崎幸子 柏崎勝志 柏崎政利 柏崎利信

袴田邦彦 柏崎尚久 袴田喜代美 北向勝美 袴田正明 松本勝雄 丁塚俊夫 北向利美司 松林一弥 笹森毅 大坂清美 橘秀彦 木村勝秀 鳥谷部幸子 澤上明 松林茂美 久保田信一 久保田和子 坂本清人 田端穂 松田悦子 畑功

上北支店 53名 (6)

楢舘皓良 小笠原正治 町屋裕孝 蛯名勲 中野一男 平廣 野田誠一 蛯名政美 宮里武雄 沼尾正勝 坂本文則 坂本徳栄 沼尾幸一 蛯名昭男 瀬川利男 佐々木昭一 榊泰司 竹内淳一 榊良彦 竹内正義 和田栄悦 相馬成登 蛯名義範 野田亮広 蛯名光人 蛯名精 千葉孫一

蛯名市美 野村光博 佐々木博英 米内山元 瀬川務 坂本和博 小笠原勝紀 坂本喜生 沼山一 新山忠幸 沼澤忠男 小笠原秀男 市川廣治 和田春彦 小笠原武志 野村茂光 大坂實 蛯名重則 榊重喜 竹内範子 蛯名則子 蛯名うめ 蛯名アサヱ 蛯名セツ 蛯名良子 阿部広美

十和田湖支店 62名 (6)

野月正 小川正行 野月義広 小川広徳 小川誠 古舘憲 新屋敷より子 中屋敷鉄男 中道彰 下山勲 高橋渡 沢田ちや 石川原富男 中村アツ子 三嶋陽一郎 樋口晃彦 太田豊 澤井勝美 西股和夫 戸舘友也 長沢政彦 西村強 四橋守 中渡利雄 中崎忠男 芦沢健悦 漆坂一夫 漆坂勝男 関美悦 小笠原勝夫 澤橋孝市

生出たき 中野渡幹男 外山國雄 小笠原嘉正 石川原賢造 折田茂 小笠原吉蔵 生出哲雄 小笠原裕行 長瀬重登 上坂光也 志田賢一 田中充 白山孝男 泉舘明 川畑政昭 石倉正男 岩木達巳 橋本實 下川原昭雄 法量昇 里村純一 柿本広一 中川由勝 川村豊美 川村優 川村喜久雄 小原康雄 竹林光雄 小林るり子 赤坂文子

七戸支店 36名 (5)

山本轍雄 仁和民夫 畠山大 倉岡清人 沢尻稔 寺澤和夫 仁和一儀 松尾正太郎 大池信幸 塚尾光男 工藤義武 成田勝敏 小倉俊夫 倉岡亮子 千葉良直 作田テツ子 瀬川龍雄 川村道子

和田繁雄 髙田福三 佐藤廣志 山谷吉直 西野定美 小栗ケイ子 菊地明光 菊地一志 工藤章 作田安喜男 荒屋義光 福村孝志 小舘千代治 気田勉 野月徹郎 山田正 三上一正 浦田タケ子

横浜町支店 29名 (3)

石崎正敏 瀬川廣 斗米晃二 斗米勝雄 髙橋堅 橋本正勝 白浜義夫

秋田幹男 二木春美 菊池國廣 新舘虎夫 二木浩克 長倉喜美男 小笠原猛

森川功司 月舘健一 中岫良次 髙橋裕 石井ちゑ子 沢谷政夫 沖津正博 沖津由蔵

鳥山義広 浜谷和恵 髙橋招太郎 菊池清助 田畑美夏子 鳥山由歌子 竹内圭史

むつ支店 30名 (2)

津花一男 常田嘉一郎 林忠久 村田睦夫 川端一義 志賀耕二 千葉亮 柳牛進 水戸隆璽 中村善明 山崎孝悦 太田寿一 菊池秋男 田中国雄 奥島貞一

鴨田輝雄 山崎憲一 松浦真 杉本稔 佐藤隆一郎 五十嵐一義 相馬誠 瀬川博光 北山勇蔵 三浦博 中村貞幸 新堂真 工藤睦子 嶋影秀子 高橋鉄造